

南 校報南中 絆きずな

〒010-0014 秋田県秋田市南通宮田15-1

ホームページアドレス <http://www.edu.city.akita.akita.jp/akm-c/>

TEL 018-833-8467 FAX 018-833-8468



4ヶ月を振り返って

校長 茜谷 英也

創立64目の平成28年度は、新入生117名を迎え、全校生徒398名（15学級）でスタートしました。今年度も、昨年度と同様、学校教育目標「志に生きる～夢と誇りをもって前向きに～」を掲げ、「豊かな心を育むこと」を学校経営の重点とし、「喜び、感動、笑顔」をキーワードに、教育活動を展開してきております。

教育目標にある「志に生きる」とは、「一人一人が、よりよい社会、世のため人のために貢献できる社会人として、夢や目標の実現にむけ、他と関わり自分らしい生き方を探求していくこと」ととらえています。私たち教職員は、子供たちを主役に、一人一人が輝く学校づくりを目指し、精一杯頑張っていく所存です。

さて、ここまで4ヶ月という短い間でしたが、生徒たちが様々な体験を通じて、自分を輝かせ、成長している様子を実感することができました。厳しい冬を乗り越え日々の練習をしっかりと積み重ねて臨んだ春季大会では、県春季バレーボール女子3位、市春季大会では、バスケットボール男子、バレーボール男子・女子、卓球女子団体の4競技が準優勝、個人入賞者も多数おり優秀な成績を収めました。

また、1年校外学習では、佐竹資料館、民俗芸能伝承館・千秋美術館などを訪れ、秋田市内の歴史や文化に触れる貴重な機会となりました。1・2年生の南中スポーツでは、一人一人が全力で競技を楽しみ、学級

の団結を確認し合う機会となりました。2年職場体験学習では、46カ所の職場の協力を得て、2日間の体験学習を行いました。どの職場でも、丁寧に対応していただき、働くことの喜びや大切さを学ぶことができました。3年生では、白神山地、鷹巣、角館、湯沢などを訪れ、県内の歴史・文化・自然に触れ、「ふるさと秋田」のよさを肌で感じるすることができました。

今年度の本校中総体のスローガンは「全力主義。～巻き起こせ！南中旋風～」でした。当日は雨のため入場行進はできませんでしたが、その後の競技は、応援団の声をからした応援もあり、全校が一体となって中総体を頑張っていることが伝わってきました。

おかげさまで、男子バレーボール4連覇、野球の19年ぶりの優勝、男子バスケットボール準優勝、女子バレーボール三位、個人入賞も多数おり、総勢109名が県大会への出場を果たし、中央地区吹奏楽コンクールで金賞を受賞した吹奏楽部の、県大会、学校祭、定期演奏会での演奏が楽しみです。

保護者の皆様には、いつも本校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。夏休み明けからまだまだ長い道のりが続きますが、全職員が一丸となって生徒の健全な成長を目指し、取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、今後ともよろしく願いいたします。

秋田の未来を考える

生徒会長

平成28年5月24日、私は、ふるさと探究学習で白神山地を訪れ、ブナの天然林が残っている貴重な山である「留山（とめやま）」の散策と、あきた白神体験センターでの棒パンづくりを行いました。

留山の散策では、世界自然遺産の登録理由であるブナの原生林や、孔雀が尾羽を広げたような葉のクジャクシダなど、豊かな自然にふれることができました。また、棒パンづくりでは、白神山地内で発見された「白神こだま酵母」を使用したパン生地を棒に巻き付け、自分でおこした炭火でおいしく焼き上げることができました。

これらの活動をとおして、私は、多くの秋田の良さを発見しました。豊かで美しい自然遺産、それを守り、後世に受け継いでいる方々、さらには食材の宝庫でもあることなど、今まで育ってきたこの秋田には世界に誇れる貴重な財産がたくさん

あり、驚きを感じました。

だからこそ、これからの秋田は、その良さをもっとPRしていくべきだと思います。秋田には、白神山地を始め、伝統工芸品、気候・風土をいかした食材などがたくさんあります。それらは、未来に残していきたいものでもあり、たくさんPRしていくことで、秋田に生まれたこと、秋田に住んでいることに誇りをもってもらえるのではないのでしょうか。

私がおのためにできることは、もっと秋田を好きになって、これからは、家族や友人、周りの人たちを大切にしていくことだと思っています。



「かわりゆくもの… かわらないこと…」

本校に勤務して7年目を迎えました。私が赴任当時、まだ南棟が使われており、3、4階に3年生の教室がありました。卒業シーズンになると、北棟の在校生と卒業生が、互いに励ましのメッセージを中庭側の窓に大きく掲示していた頃が懐かしく思います。昨年度には、新しい武道場が建築され、やがては現在の校舎全体の様相が大きく変わる日が訪れることでしょう。

外観が徐々に変化している南中ですが、活発で優しい南中生の気質は全く変わってないと感じる一方で、「少子化」と「情報化」の進行に伴い、生徒を取り巻く環境は、確実に変わってきていると考えます。具体例としては、部活動の縮小があげられ、この7年間で3つの部活動がなくなりました。活動を続けている部でも、「選ばれて大会に出場できる。」から「みんなで大会に参加する。」へと移行せざるを得なくなり、生徒同士の競い合いという意識は薄れてきているように感じます。また、スマホに代表される情報端末の進歩はLINE等コミュニケーションアプリを流行させ、中高生が日常的にSNSやブログを利活用し、ゲーム

機や音楽プレーヤーも情報通信機能付きとなり、小学生でも当たり前のツールとしてインターネットを利用しています。昨年度、本校が行った調査によると、南中生の約7割が何らかのインターネット接続機器を自分自身で「持っている」と答えています。

バーチャルな道具が普及し、子どもたちが「かわりあい」をつくっていく方法が変化してきている中、進歩し続ける情報機器の安全な使い方を理解させることは大切です。そのため、本校では毎年「情報モラル教室」を開催するなど、ネットトラブルの実例をもとに、トラブルを防止する方法などを学ぶ機会の充実に努めています。しかし、最も大切なことは、人と人とのコミュニケーションの大切さについて、実感を伴って理解していくことだと思います。他とコミュニケーションをとっていく力は、次代を担う子どもたちが、社会の中で生きていく上で、必要不可欠な能力であり、今後も計画的に、様々な行事や生徒会活動などを通して、しっかりとじっくりと身に付けさせていきたいと考えます。

生徒指導主事

「確かな成長に向け、職員一丸となって」

「おはようございます」「こんにちは」朝の玄関前、教室や廊下で生徒の明るいあいさつが響き渡り、南中生は、「今日も一日、頑張ろう」という気持ちにさせてくれます。また、先生方の指導や助言を素直に受けとめることができるとも感じています。一人一人の生徒が、自分の目標達成に向けて、互いにかかわりながら、自ら学んでいく力をより高めていくことを目指し、先生方が学習指導を行う際の共通テーマを「主体的に学び、共に認め合う生徒の育成」としています。

具体的な取組として、各教科の授業では、めあてや課題を明確にすることを重視しています。一時間毎の授業のめあてや、取り組むべき課題を明確にすることは、ゴールに向かって主体的に取り組む大きな原動力へとつながります。何をすべきかがはっきりすればするほど、達成できたかどうかの評価（先生の評価、生

徒自身の評価）も明確になります。このことは、自分の成長を自覚できたり、達成できなかったときの課題を見いだすことにつながります。そして、この時の気持ちが、「もっと学びたい」という意欲につながっていくと考えます。

また、すべての活動の基盤となる「心」を育むとの考えから、例えば、各学年に設置されている「道徳コーナー」には友達の考えや感想が掲示され、多様な考え方に気付く、共感するなど、互いに認め合う場のひとつとなっています。また、職場体験学習や地域貢献活動を通じて、自分自身を振り返ったり、コミュニケーションの重要性を実感したりしています。

これからも、南中生全員が「夢と誇りをもって前向きに」成長していくことを楽しみに、全職員一丸となって取り組んでいきたいと考えます。

研究主任

「ともに育て、ともに喜び」

南中学区は、築山小と中通小の学区に、旭南小の一部の学区を含んでいます。この3校区の地域性や子どもたちの発達の段階を踏まえ、校種を超えて細やかな情報交換を行い、9年間を見通した教育活動を行うために、四校連絡協議会を設立しています。今年度の交流計画は、5月に中学1年生の授業参観、8月に小学校の授業参観・情報交換、11月に小学生の体験入学、2月に3年生の母校訪問などを予定しています。今年の2月に行った母校訪問（現高1）では、すでに進学先が決定した生徒が訪問し、どの小学校を訪問し

た生徒も、立派になったことを認めてもらい誇らしげな表情で帰校した生徒の様子が印象的でした。また、5月の授業参観では、参加された小学6年生の担任の先生から、とても立派になったとお言葉をいただき、小中での生活の様子や学習態度・習熟の程度などについて意見交換を行うなど充実した交流となっています。今年も、大きく成長した南中生を見て、小中の教員で共に喜びあいたいと願っています。

教務主任

レポート紹介

三年部では、「秋田の自然・歴史・文化等をテーマに、ふるさと秋田のよさを発見する」ことを主な目的に、5月24日にふるさと探究学習を実施しました。

A 『白神山地の自然』 B 『綴子大太鼓と阿仁のマタギの伝統文化』 C 『和崎ハルのわらび座ミュージカル』 D 『稲庭うどんや納豆の食文化』の四コースから、ここではCコースのレポートを紹介します。

私が見つけた角館のよさ

平成28年 月 日

3年2組

テーマについて

普段の生活では見つけられない角館のよさを知らう。

へテーマ設定理由

普段の生活だけでは見つけられない角館のよさ。見つけたら感じたりすることはできないと思う。だから今回のふるさと探究学習を通して、秋田や角館のよさをたくさん知って、将来絶対秋田に住みたいと思うことができるような学習にしたいと思ったから。

武家屋敷に行ってみて

私たちのグループでは、「青柳家」と「石黒家」→「松平家」に行きました。まずメインは青柳家でした。青柳家は大きく分けて十二個のエリアがあった。青柳家母家は秋田郷土館などがある。青柳家母家は重要な文化財になっている。青柳家母家でも自然が豊かで武家らしいかっこいい建物だった。建物の中は昔生活していた時使っていた道具などから昔の生活の様子がよく伝わってきた。今の家のつくりとは全く違って、どうやって生活をしているのかとてもきになった。一回そこで暮らしてみたいなとも思った。次に青柳庵ミュージアムに行った。中には昔の人がいた絵画を中心に古文書

武家屋敷に行ってみて

青柳家は全てのエリアをまわってみるととても広く、大切にしていきたいなと思った。他にまわった二つも大切な日本の文化だと感じた。

ハルららんらん（あらか座）をみて

ハルららんらんは明治半ばのハルの人権・解放運動までへの道のりを劇にしたものである。このミュージカルから昔の人々の生活や戦争の悲しさなどたくさん知ることができたと思う。昔の人の格好は今とはまるっきり違って、話し方から見た目も昔の生活ぶりをみることができた。戦争は、戦いに行

私が感じた秋田の良さ

武家屋敷通りを歩いたり、武家式の中に入ったり、ミュージカルをみたりしてたくさん秋田の良さを見つけた。秋田は、昔の建物や文化を大切にしたい。心の優しい人が多いというところだ。また、今では少なくなっている緑がたくさんあり、空気がきれいというところを大きく感じた。建物や絵などはとても昔のものなのにきれいに保管されていることから、秋田の人たちのあたたかさを感じることができた。

編集後記

私は、「普段の生活では見つけられない角館のよさを知らう」というテーマのもと、この活動に取り組んだ。普段、生活しながら「秋田っていいなあ」と感じたりすることがなかったから、とてもいい経験だったと思う。逆に、そのように意識して一日を過ごすことができた。秋田の良さを見つけたことができたよかったです。テーマの設定理由の一つに、「将来絶対に秋田に住みたいと思えるような生活」とあったが、今回の活動で秋田に住み続けたい！と思うことができたと思う。秋田にはたくさん人の良さがあって、それを私たちが守っていかねければならない。と思った。これからの生活の中でも、さらに良さをみつけていきたいと、強く思った。

「全力主義。」

秋田市中総体 を終えて



● 男子陸上 ● 主将

3年生にとっては最後の大会となる市中総体では、県大会に進むことができたのが4名と、実力を出し切ることができなかつたり、力不足で上位大会へ進むことができなかった人もいました。しかし、それぞれが今回の反省点や県大会に向けての課題を見付けることができました。県大会では秋田市で開催される東北大会と長野全中を目指し、悔いが残らぬよう頑張ろうと思いました。これまで支えてくださった保護者の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

● 女子陸上 ● 主将

市中総体ではベスト記録を出せず、実力を出し切ることができなかった人の方が多かったことが残念でした。言い換えると、大会に合わせることはできなかったことになります。強い人は、大事なときに合わせてベストを出すことができるので、私は、心と体を合わせるが一番大事なことでと思っています。県総体では心と体とチームみんなの目線を合わせ、笑顔で終わりたいです。南中の応援は市内では一番だったと思います。それだけ一人一人がチームのことを思っているということなので、その思いを大切に、みんなで強いチームを目指します。

● 男子卓球 ● 主将

市中総体では、団体戦で予選リーグ敗退という、悔いの残る試合でした。私はキャプテンを務めてきましたが、これまで試合でチームを引っ張っていくことができませんでした。しかし、今回の大会では、個人戦で期待以上の結果を残すことができ、後輩にあきらめずに努力することの大切さを伝えられたと思います。今後のチームでは、この大会からそれぞれが学んだことを生かして、勝ち進んでほしいと願っています。

● 女子卓球 ● 主将

市中総体では、団体はもちろん、個人での全県大会出場を目指して練習してきました。しかし、団体決勝トーナメント1回戦で御野場中にあと1セットというところで負けてしまい、目標を果たすことができず、とても悔しい結果となりました。個人では、2年生1名が県大会に出場します。新人戦では再び、県大会に団体出場できるようがんばってほしいと思います。3年間、部活動で学んだことを、今後の生活に生かしていきます。応援ありがとうございました。

● 剣道 ● 主将

剣道部の市中総体での目標は、団体で県大会に出場することでした。1年生も入部し、部の人数も増え、県大会出場が近づいたようにも思えました。それからは、先生方との稽古や試合形式の部内戦など、できることは全部しました。しかし、男女共に県大会に出場することはできませんでした。結果は、残せませんでした。剣道を通してあらゆる事が成長できたと思います。これまで支えてくれた全ての皆さん、本当にありがとうございました。

● 男子バスケットボール ● 主将

私たち男子バスケットボール部は、2回戦は城東中に85対51、準々決勝は勝平中に73対49、準決勝は飯島中に74対52で勝ち、決勝は秋田東中に破れ準優勝という結果でした。決勝戦では、自分たちのバスケができず、不完全燃焼で終わってしまいました。県大会では、再び秋田県チャンピオンのブロックに入ります。今度こそは、絶対に勝ち、東北大会に出場します。応援よろしくをお願いします。

● 女子バスケットボール ● 主将

私たち女子バスケットボール部は、3年生にとっての公式戦初勝利をおさめることができました。2試合目は秋田北中に敗れてしまい、様々な思いから涙が溢れましたが、後悔はありませんでした。春季大会で負けたときは、「このまま一勝も出来ないまま終わるのではないか」ととても怖かったです。しかし、今回は自分たちのやってきたことを信じ、誇りをもつことが出来ました。これも、支えてくれた多くの人たちや応援団の皆さんのおかげです。後輩たちには私たちが果たせなかった全県出場を託します。チーム一丸となり頑張ってください。

● 男子ソフトテニス ● 主将

私たちテニス部は、中総体へ向けて、自分たちの弱点を克服するために少しずつではありますが、サーブ、レシーブなどの練習を日々積み重ねてきました。大会当日は、これまで練習したことを思い出しながら、精一杯走り、球を拾い、選手一人一人がベストを尽くすことができました。今回の中総体では県大会に進むことができませんでしたが、後輩たちには今回の経験を糧に、県大会出場を達成してほしいと思います。

● 女子ソフトテニス ● 主将

中総体に向けて、3年生を中心に個々に目標を立てて練習に励んできました。また、「信じる」を合い言葉に、指導されたことや技能面での話し合いを重ねてきたこと、そしてペアを信じることを大切にして大会に臨みました。県大会出場とはなりませんでしたが、自分たちのベストを出し切ったと思うので、この経験を次のステップに生かしていきたいと思います。

● サッカー ● 主将

1回戦の相手は昨年も戦い、大差で敗退した山王中でしたが、ウォーミングアップからチームの心をひとつにして、良い雰囲気で行き届いた試合に臨むことができました。とても苦しい試合展開で両チームが全力を出し切り、延長戦の末、PK戦となりました。PK戦では気持ちをひとつに臨んだ結果、キーパーの好セーブもあり4-2で勝利を収めました。準々決勝には残念ながら敗れてしまいましたが、その後の代表決定戦で秋田西と対戦し、気持ちで勝利をもぎ取り、目標であった県大会出場の切符を掴みました。

● 水泳 ● 主将

私は中総体に向けて、苦手なことなどを中心に努力を重ねてきました。全体の動きを大きくすることや手を速く動かすこと、同じペースを保ち続けることなど練習中も常に意識するようになってきました。大会本番では目標どおりベストタイムで県大会へいくことができましたが、レースの途中でペースが落ちてしまっていたと思うので、県大会では最初から全力を出し、そのペースを最後まで保ち、市中総体を越えるタイムを出したいです。

● 男子バレーボール ● 主将

私たちは、市中総体4連覇を目標に掲げ、昨年夏から練習に励んできました。しかし、秋季大会、春季大会は御野場中に敗れて準優勝でした。本当に本当に4連覇できるのか、という不安が日に日に大きくなりましたが、様々な学校との練習試合をとおして技術を身につけ、御野場、城南をストレートで破り、4連覇を達成しました。最高のチームメイトと最高の結果で終えることの出来た中総体は一生の思い出です。

● 女子バレーボール ● 主将

私たち女子バレーボール部は全県出場は決めたものの、結果・内容ともに悔いが残る大会となりました。今年のチームは良い時・悪い時の差が大きく、このままでは上位レベルにいくと通用しません。全員の気持ちのもち方や自分達らしいプレースタイルを続けるということを意識していきたいです。そしてどの試合にも連続ミスや声かけのミスなどがあります。これらのことを課題として意識し、市中総体での悔しさを県大会で歓喜に変えるよう、全力で戦います。

● 野球 ● 主将

私たち野球部の初戦は太平中でした。初戦ということで不安や緊張もありましたが、5-0で勝利しました。翌日の二回戦は気温が30℃近くまで上がり厳しい環境の中でしたが、集中力を切らさず、7-0で圧勝しました。そして迎えた決勝戦では、雄和中が相手でした。接戦となり、とても苦しい試合でしたが、2-1で勝利し、優勝することができました。チームの目標を達成し、喜びが爆発しました。結果は優勝でしたが、どの試合も苦しい戦いでした。しかし、そんな時にたくさんの人の応援が目に入り、勇気が出ました。野球部を応援してくれた皆様、本当にありがとうございました。



秋田市中学校春季大会（第3位以上）

卓球女子団体	準優勝
バスケットボール男子	準優勝
バレーボール男子	準優勝
バレーボール女子	準優勝
陸上	
男子共通砲丸投	第1位
女子共通砲丸投	第1位
女子共通 100m ハードル	第1位
女子3年 1500m	第1位
女子共通砲丸投	第2位
男子2年 100m	第3位

全県春季バレーボール大会 女子準優勝

【市中総体入賞一覧】

男子バスケットボール	準優勝
野球	優勝
男子バレーボール	優勝（4連覇）
女子バレーボール	第3位
陸上男子	第1位
共通砲丸投	第1位 <small>（大会新記録）</small>
2年 100m	第4位
奨励 100m	第4位
共通 110m ハードル	第6位
共通四種競技	第6位
陸上女子	準優勝
最優秀選手賞	
共通 800m	第1位
3年 1500m	第1位
共通砲丸投	第1位
奨励 100m	第2位
共通 100m ハードル	第3位
共通四種競技	第3位
オープン 1500m	第3位
共通 100m ハードル	第4位
オープン 1500m	第4位
共通 400m R	第5位
共通砲丸投	第5位
低学年 400m R	第6位
水泳 200M個人メドレー	第6位

【各種大会】

（女子陸上）	
山田記念ロードレース大会	第1位
大館北秋田クロスカントリー記録会	第1位
天王グリーンランドクロスカントリー大会	第1位
（男子バレーボール）	
秋田グリーンライオンズカップ	第3位
全県春季バレーボール能代大会	準優勝
秋田青森二県選抜中学校親善大会	第3位
（女子バレーボール）	
県春季バレーボール大会	第3位
秋田グリーンライオンズカップ	準優勝
優秀選手賞	

第50回記念秋田県中学校選抜バレーボール本荘大会 優勝

（バトン部）

全国共通規定演技バトンコンテスト

ソロトワール	初級金賞	ソロトワール	中級銀賞
--------	------	--------	------

よい歯のコンクール

優秀賞
優良賞

ポスターの部 入選

（県展 デザイン 入選）

「翼」



全日本吹奏楽コンクール

第58回秋田県中央地区大会 中学校小編成の部 金賞
（秋田県大会へ 7/31 県民会館 10:30演奏開始）

お知らせ

◇東北大会 陸上	8/8～10（秋田県営陸上競技場）
バレー	8/6～8（天童市）
野球	8/5～7（仙台市）

◇秋田市秋季大会	
8/27 水泳	9/17～ 野球 バスケ テニス
9/22～ サッカー	9/24～ 野球
10/1～ 陸上 バレー	10/8～ 卓球 剣道

◇今後の主な学校行事

8月26日	定期テスト②
8月27日	秋田市英語弁論大会
8月29日	教育実習受入期間（～9/16）
9月3・4日	秋田市児童生徒作品展覧会
9月9日	南中祭開祭式
（9/10一般公開 9/12合唱コンクール 9/13振替休日）	
10月3日	生徒会役員立会演説会
10月7日	前期終業式
10月12日	後学期始業式